

はじめてのスノーシュー&雪上テント泊体験

一面の銀世界。空気が澄んだ冬の夜空は美しい輝きを放ち、聞こえてくるのは“雪が降る音だけ”。雪上キャンプは、これまでにない非日常の体験をもたらしてくれることでしょう。

冬のテント泊に必要な装備、知識について学び、実際に雪上にてテント泊を体験します。テント泊での年越しは、思い出に残ること間違いなし！

近くに水場もトイレもありますので安心してご参加ください。希望者は雪洞泊体験も可能です。(笑)。



[開催日] 2016年12月31日(土)～2017年1月1日(日)

[体力度] ★ (普段歩き慣れていない方でもご参加いただけます。)

[集合] 10:00 もくもく自然塾ガイドセンター

※雪上テント泊講習からの参加も可能です。その場合、12:50にもくもく自然塾ガイドセンターにご集合ください。

[参加費] 10,000円(税込) ※雪上テント泊講習から参加の場合も料金は変わりません。

[会場] もくもく自然塾ガイドセンター内およびその周辺

[行程] 1日目

- 10:00 集合、ブリーフィング
- 10:15 スノーシューを体験
- 12:00 昼休み
- 13:00 雪上テント泊講習およびテント設営
- 15:00 入浴または休憩、買い出し ※入浴施設までは無料送迎いたします。
- 16:30 夕食準備および夕食
- 自由時間(雪遊び? 宴会? 星空観察?)

2日目

Happy new year!

- 7:00 起床、朝食準備および朝食
- 8:30 後片付け
- 9:00 解散

「はじめてのスノーシュー&雪上テント泊体験」のご案内

- (1) 定員は 15 名。最少催行人数は 2 名です。
- (2) 料金には保険代、スノーシューレンタル代が含まれます。入浴する場合は別途入浴料が必要となります。
- (3) 積雪した低温の屋外で活動ができる服装、履物でご参加ください。
- (4) **1 日目の昼食と夕食、2 日目の朝食**をご準備ください。
それぞれ調理が必要なものにするか、出来合のものにするかはお任せいたします。調理をする場合は、低温下でも使用できる調理機器をご用意ください。(※電気は使用できません。)
コンビニまで車で 5 分ですので、食材の追加買い出しも可能です。
- (5) お手持ちの**テント、寝袋、マット、防寒具**をご用意ください。寝袋は冬用のものでなくてもかまいませんが、代わりに防寒具を必ずご用意ください。
キャンプ地は駐車場のすぐ近くですので、防寒具を多めにご用意いただければ現場での加減も可能です。
- (6) お持ちの方はシャベル（スコップ）をご用意ください。
- (7) 当日はもくもく自然塾ガイドセンター内のお手洗いをご利用いただけます。また、水の補給も可能です。

お申し込み方法

まず、このプログラム詳細の内容をよくご確認ください。グループでお申し込みの場合は、代表者も含め**参加者全員が必ずご確認ください。**

参加希望日の 7 日前（磐梯山は 10 日前）までにお電話にてお申し込みいただき、下記のいずれかの方法で申込用紙を入手し、FAX でお送りください。

申込用紙の PDF ファイルを直接編集し、info@moku2-outdoor.com 宛にメール添付でお送りいただいても結構です。

- (1) ホームページから申込用紙をダウンロードする。
- (2) 申込用紙を自宅に郵送してもらう。

※お電話にてお申し込みいただく前に参加申込書や同意書だけをご送付いただいた場合は申込を受理できませんのでご注意ください。

※予約状況によっては 7 日前を過ぎてのお申し込みもお受けできる場合がございますのでご相談ください。
(磐梯山については保険加入の都合上、締切日厳守とさせていただきます)

キャンセルについて

ガイドがツアーに適さない天候と判断し催行を中止にした場合、天災、事故（事故証明書をご提出いただきます）、事件などを除く理由によりプログラムの参加を中止する場合には、下記のキャンセル料を頂戴いたします。

プログラム開始日の7日前から2日前まで	料金の 30%
プログラム開始日の前日および当日	料金の 50%
連絡なしの当日キャンセル	料金の 100%

申込書未送付の場合でも、お電話にてお申し込みいただいた時点で下記キャンセル料の対象となりますのでご注意ください。お申し込みを取り消す場合は必ずお電話にてご連絡ください。
 また、病気やケガによるキャンセルについてもキャンセル料の対象となります。体調管理に万全を期すようお願いいたします。

担当ガイド

渡邊 亮（わたなべ りょう）

「ならぬことはならぬものです」を地で行く、会津が生んだサムライガイド。登山だけでなく、バックカントリー、キャニオニング、カヌーなどのガイドも務めるマルチプレイヤー。NHKの「おいで、東北」男子としても注目を集める。

1974年福島県会津坂下町生まれ。裏磐梯在住。東北山岳ガイド協会所属。日本山岳ガイド協会認定登山/スキーガイド、レスキュー3TRR-T/SRT-I、日本スノーボード協会認定インストラクター、日本レクリエーションカヌー協会認定指導員ほか。



お申し込み・お問い合わせ先

裏磐梯 もくもく自然塾

〒969-2701 福島県耶麻郡北塩原村大字桧原字小野川原 1092-38

TEL : **0241-23-9018** FAX : **024-505-4826** URL : <http://moku2-outdoor.com/>

「はじめてのスノーシュー&雪上テント泊体験」装備表

◎：必須装備 (◎)：ツアーによっては必須 ○：より安全・快適に過ごすための装備 △：あると便利な装備

装備	チェック	備考
ザック	◎	キャンプ地への移動時、携行する装備が入る大きさのもの。
アウター（上下）	◎	防水性、透湿性の高い素材のものがオススメ。
中間着	◎	フリースなど、軽量で保温性の高い素材のもの。
予備の防寒着	◎	薄手のダウンなど、軽量で保温性の高い素材のもの。避難小屋泊とテント泊では上下必須。
アンダーウェア（上下）	◎	保温性、速乾性の高い素材のもの。綿製品は不可。
グローブ	◎	防水性・保温性のある厚手のものと保温性のある薄手のものの2種類は最低限用意。
帽子	◎	耳たぶまでしっかり覆うタイプのもの。
靴下	◎	保温性の高い素材のもの。
靴	◎	防水性・保温性のある登山靴またはスノーアクティビティ用シューズ。
サングラス	◎	雪目防止。ゴーグルでもよいが、汗をかくと曇りやすいので使い方に注意が必要。
1日目の昼食、夕食 2日目の朝食	◎	調理が必要なもの、出来合のもの、どちらでも可。
テルモスまたは水筒	◎	行動中の水分補給に。暖かい飲み物があるとより快適。
ヘッドライト	◎	夜間の行動に必要です。予備電池も忘れずに。
ゴミ袋	◎	持ち込んだものはすべて持ち帰る。
スコップ（ショベル）	(◎)	整地等に使用。お持ちの方のみ。
スパッツ	○	シューズ内が濡れるのを防ぐ。また、アイゼン装着時に裾を保護するために。
ネックウォーマー	○	悪天候時に重宝。バラクラバ（目出し帽）なら尚よし。
カイロ	○	食事中や就寝中の防寒対策として。
ロールペーパー	○	食器を拭く場合に使用。
医薬品	○	各自で必要なものを用意。
テント	◎	希望者はツェルト泊や雪洞泊でも可。
寝袋	◎	3シーズン用の場合は、防寒具を多めに用意すること。
マット	◎	雪面からの冷気を防ぐ厚さのもの。
防寒具	◎	就寝時に使用。ダウンジャケットや毛布など。
調理道具	○	バーナー、コッヘル、燃料（低温下でも使用できるもの）、食材、調味料等。山での食事は手間かけるのもまた楽し。

*** 注意 *** (1) 装備表の内容はあくまでツアーの装備であり、個人で行く場合の装備としては不足しています。
(2) 自前の装備については、ツアー当日までに必ず使い方を把握しておいてください。

2016. 12. 09 「はじめてのスノーシュー&雪上テント泊体験」初版。

※このプログラムの詳細は、予告なく内容が変更される場合があります。

変更履歴